

校歌

作詞 相馬 御風

作曲 中山 晋平

一 偉名千古に朽ちせざる

義烈の丈夫謙信が

姓を名とせるこの里の

民の誉れを思わずや

二 瑞穂波うつ野はひろく

あしたに仰ぐ妙高や

ゆうべにのぞむ米山の

雄姿はとほに動かじを

三 千難万苦たゆまざる

剛健の意気胸にもち

われらが進むゆくてには

何かさえぎるものあらん

四 共にいそしみ共に和し

共に心をきたえつつ

いざや輝くのぞみもて

ふるい励まんはらからよ

